

かれんと

～ Current (カレント) : 時代の流れあるいは新しい潮流～

男女共同参画社会の
実現を目指して

2026.2.25

No.67

ススメ隊活動報告

令和7年度は、2つの「男女共同参画推進講座」の企画運営と「かれんと」の編集のほか、研修として県の講演会(6月・11月)に参加しました。また、9月には新しい隊員が加入して一層にぎやかに、楽しく活動しています!



新メンバーGOです

先輩と一緒に
がんばります!

第1回講座 パパとつくろう!「時短 簡単 カフェごはん!」

7月26日(土) 市民情報センター

「家族全員で家事をシェアしよう!」を目的に小学生と父を対象に開催しました。始めに講師より、食の大切さと作り方を聞いてから調理を開始。参加者は慣れない料理に悪戦苦闘していましたが、今回はチョッパー(みじん切り器)を使って「手軽に楽しく」玉ねぎをカットすることが出来ました。自分で作ったロコモコ丼と具だくさんスープは凄く美味しかったようで、みんな残さず食べました。ぜひ今度は家族のために作って、家事シェアを進めていってほしいです。(ワ)



家事シェア!

リコチャレ!

第2回講座 未来発見!女子の理工体験ツアー

8月7日(木) 帝京大学宇都宮キャンパス

女子の理工系分野の進路選択促進を目的に、小5～中3の女子とその保護者がバスで帝京大学にお邪魔しました。実験では、教授から手順を教わったのち、グループに分かれてバナナのDNA抽出を行いました。とても繊細な作業でしたが、協力して取り組み、DNAを確認することができました。キャンパス見学では、飛行機格納庫や温室など、大学ならではの施設を周り貴重な経験となりました。昼食の学食体験も楽しかったです。(れ)



パルティ開館30周年記念講演

演 題:「男女平等はどこまで来たか?達成と課題」
講 師:上野 千鶴子氏(社会学者、東京大学名誉教授)
と き:11月15日(土)
と ころ:とちぎ男女共同参画センター パルティホール

第2回研修として
講演会に参加!



堅いテーマではありましたが、ポイントを抑え、笑いを交えながらの語りで最後まで心地よく聞くことが出来ました。この50年で、セクハラやDVなどが「暴力」「法律違反」として認識されるようになった半面、フェミニズムでは変えられなかったものとして、男女の賃金格差や女性活躍などを挙げられました。日本では共働きが増加しているが、女性に非正規が多く男女の賃金格差がなくなる。社会の制度をつくるところにもっと女性が必要だと感じ、男女共同参画を推進する重要性を改めて認識しました。(G)



「イクボス」の仲間が増えました!

働く環境の積極的な見直しや改善を推進する取り組みとして、「イクボスカめま宣言」を実施し、市に登録していただいた事業所を紹介します!

登録事業所随時募集中

各事業所の宣言書は市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



新規登録事業所 ※令和8年1月31日現在 26事業所
No.26 (株)日吉空調 代表取締役 寺内 実様

「男女共同参画ススメ隊」募集!

男女共同参画をススめるために、自らが学びながら活動する隊員です。

<募集案内>

- 1 募集人数 8人
- 2 応募条件 18歳以上の市内在住、在勤または在学者で、男女共同参画社会の実現のための啓発に興味関心がある方
- 3 活動内容 全体会議、講座の企画・運営、情報紙の取材・編集など(年10回程度)
- 4 任 期 令和8年4月1日から2年間
- 5 応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、鹿沼市人権・男女共同参画課へ郵送または、申込フォームよりお申込みください。
- 6 謝 礼 市の規定に基づき、1回2,000円程度を予算の範囲内で支払います。
- 7 選 考 厳正に選考し、結果は応募者全員に通知します。
- 8 申込締切 令和8年3月13日(金)

一緒に楽しく
活動しましょう!

申込フォーム



ススメ隊員のおススメ!!

さつき大通りの桜並木



満開の桜並木と花びらの舞い散る情景は壮麗で、ライトアップされた夜桜は幻想的な世界に引き込まれます。その桜を象徴とした「ふれあいさくらまつり」の開催に向け、子どもたちを含む各種団体、自治会等地域住民が年齢、性別を超えて一丸となって取り組んでいます。今年は4月4、5日に開催されるので、ぜひ足を運んでみてください。(口)

鹿沼の屋台彫刻



屋台彫刻には様々な意味があるのをご存じですか?縁起の良い龍は、水神様でもあり、鹿沼の(雨ごいの)祭りに最適です。

夫婦の龍は、女性の上に彫ってかかあ天下を表現したり、願いが叶う玉(お財布?)を女性が握っていたりと人間社会を投影しています。また、花と鳥は平和の象徴、ぶどうやリスは子孫繁栄、獅子の子落としは子どものたくましい成長を願っており、町や人の幸せへの想いは今も昔も変わりません。次はぜひ、彫刻に注目して祭りを楽しんでみてください。(G)

編集後記

- 初めての編集、楽しく出来ました。今後も良き通知発信に努めます。(G)
- ススメ隊の活動は様々な視点の学びがあり、とても有意義で楽しかったです。(口)
- 会議の時にいただくお茶菓子が毎回楽しみでした。(ワ)
- 意見を伝えるのは勇気がいるけど、未来を見据えて伝える勇気が必要だと感じました。(れ)

<編集>男女共同参画ススメ隊 れな・ロミくん・ワタくん・GO

<発行>鹿沼市 〒322-8601 鹿沼市今宮町1688-1 市民部人権・男女共同参画課 ☎0289(63)8352

声を社会に届けるって、具体的にはどうすればいいのだろう？



地域活動に参加してみる！

- 一人では難しくても仲間がいれば出来ることもあるかも。
- 気になるイベントや講座などに参加して、仲間をみつけて共に活動してみよう！
- 地域の課題解決などの活動は、社会に声を届ける第一歩ですね。

市政に意見を伝えてみる！

- 審議会委員に応募し、福祉、環境、まちづくりなど興味関心のある分野について意見や思いを言ってみよう。

※各審議会では「一般公募」枠を設けていますので、応募してみよう！



地域活動の現場から～ 鹿沼の元気な団体を紹介します！

特定非営利活動法人 レインボー【子育て支援】

<活動内容>

「鹿沼で子育てしてよかった」を目指して、親子活動や子育てイベントの主催など地域に根ざした活動をしています。また、赤ちゃんふれあい体験交流事業、子育て支援センター、休日保育などを市の委託を受けて運営しています。

<やりがいを感じる場所>

保護者と子どもが笑顔になる事です。

HPはこちら



鹿沼かえる組【高校生まちづくり】

<活動内容>

鹿沼をかえる、自分をかえるをモットーに活動する高校生団体。鹿沼の魅力発信のため、新商品開発や『やんぐ祭』を開催！

<やりがいを感じる場所>

- 活動を通して仲間ができること、自分をかえることができること！
- 鹿沼の新たな魅力を知り、もっと鹿沼を好きになれること！



市HPで紹介

はじめの一步を踏み出すあなたへ

女性自治会長より



自治会長・自治連理事共に2年目です。着任して始めて知ることも多く、地域の皆様のご理解・ご協力に心より感謝です。

地域の安心安全のために女性の視点は大切で、老若男女みんなで助け合い尊重し合って社会参加することが重要だと思います。ぜひ、沢山の女性に地域で活躍してほしいですね。

塩山町 小森 基伊 様

かめま市民活動広場ふらっとより

ふらっとは、市民活動をサポートする場で、市民への情報提供、何かを始めようとしている方へ向けた講座の開催や相談受付などを行っています。皆様を色々な施設や活動団体につなげて、一步踏み出す応援をします。お気軽にお問合せください。お待ちしております。

鹿沼市下横町1302 まちなか交流プラザ1階



「はてな？」や「モヤモヤ」を感じた時は、声に出すことが解決の第一歩。また、「女性の声が届く社会」づくりは「みんなの音が届く社会」の第一歩です。さあ！あなたも、身近なところからはじめてみませんか。

鹿沼市ホームページから「かれんと」バックナンバーがご覧いただけます。

トップ>福祉・健康>人権・男女共同参画>男女共同参画>男女共同参画情報紙「かれんと」バックナンバー

女性の声を 社会に届けよう

2025年6月に世界経済フォーラムが発表した、ジェンダーギャップ指数(男女格差)の日本の順位は、148カ国中118位で先進国では最下位です。日本で男女共同参画の進みが遅いのは、意思決定の場に女性が少ないことが影響していると言われています。昨年、初の女性内閣総理大臣が誕生し活躍が期待されるようですが、国会議員における女性の割合は19.0%*と政府目標の30%に及ばないのが現状です。今回は、一人ひとりが輝く社会作りのために、「意思決定の場に女性の声を届ける」ことについて考えてみました。

※2024.11月現在

意思決定の場とは、どんなところ？



鹿沼市では、どのくらいの女性が意思決定の場に参画しているの？(県内25市町で比較)

項目	鹿沼市	県内1位	県内平均
審議会委員	23位 (24.8%)	栃木市 (40.4%)	30.3%
自治会長	22位 (0.7%)	野木町 (9.9%)	3.4%
市町村議会議員	17位 (8.7%)	足利市 (39.1%)	15.6%

出典:令和6年度 内閣府市区町村女性参画状況見える化マップ



組織や社会の行動変革に必要な割合はおおよそ30%と言われています。

意思決定の場に女性が少ないことのデメリットは？

たとえば

災害時の避難所運営に女性が少ないと

- 女性特有のニーズに気づきにくく、男性スタッフには要望しづらい(生理や妊娠・授乳のとき、性暴力被害のリスクなど)
- 避難所での衛生、健康、快適さなどに、日頃から「ケア労働」を担うことが多い女性の視点が届かず、避難者の健康状態などが悪化しやすい

ほかにもある！「女性の声が社会へ届いていない」「モヤモヤする」と女性を感じる場面

家庭で

- 共働きなのに、家事、育児、介護を「手伝う」というパートナーの言葉。
- 女性のキャリアアップについては「家庭がおろそかになる」と家族が否定的。
- 女性だからという理由で、希望の進路をあきらめた。

職場で

- もっと働きたいが家庭を優先せざるを得ない。
- やる気があっても男性と同じ機会が与えられない。
- 同性のロールモデル(目標や手本となる人)がない。

地域で

- 役員になっても、男性ばかりだと意見を言いがたい。
- 地域のイベントや会合で、お茶出しなどの補助的な役割が「女性の仕事」とされる。

公共の場で

- イベント会場などで、女性トイレに長蛇の列。男女の特性を考えるとトイレをつくってほしいな。
- 男性が気兼ねなく使える授乳室やおむつ替えスペースがあると、私も助かるのに。



色々な場所に「女性の声」が届くと、もっと社会は変わるかも？

